授業科目名	環境経済学Ⅰ	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	前期
学部・学科等	ｼﾃｨﾗｲﾌ学部ｼﾃｨﾗｲﾌ学科	曜日	火曜日
必修・選択区分	自由選択	時限（時間）	3 時限（13 時 00 分～14 時 30 分）
標準対象年次	２年次	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	大石和博　准教授		
電話番号 （代表者名）	028-650-6611 （教務課　浮須［ｳｷｽ］）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず，電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の概要＞

この講義では環境問題を扱う経済学を学びます。特に、市場の失敗を中心にミクロ経済学を学ぶことによって、環境政策のあり方を考えるうえで必要な基礎理論を学びます。2年次のミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱより発展的な内容になりますが、できだけミクロ経済学の初歩から説明したいと思います。

＜到達目標＞

・環境税や排出量取引などの環境政策を考えるための基礎力を身につけること
・環境問題が発生するメカニズムを自分自身で考えられるようになること

＜授業計画＞

第 1 週　環境経済学の世界にようこそ！
第 2 週　環境経済学とは何か(1) 経済的誘因
第 3 週　環境経済学とは何か(2) 対費用効果分析と費用便益分析
第 4 週　経済と環境(1) 環境経済学と資源経済学
第 5 週　経済と環境(2) 生態系サービスへの支払い制度
第 6 週　経済と環境(3) 経済的・社会的資産としての環境
第 7 週　費用と便益、供給と需要(1) 支払意思、需要曲線
第 8 週　費用と便益、供給と需要(2) 需要
第 9 週　費用と便益、供給と需要(3) 便益、費用
第 10 週　費用と便益、供給と需要(4) 費用曲線
第 11 週　費用と便益、供給と需要(5) 限界費用均等化原理、供給曲線
第 12 週　費用と便益、供給と需要(6) 限界費用と供給
第 13 週　経済効率性と市場(1) 市場と社会的効率性
第 14 週　経済効率性と市場(2) 外部費用
第 15 週　経済効率性と市場(3) 外部便益、公共財

＜教科書参考書教材と入手方法＞

教科書　バリー・C・フィールド『環境経済学入門』日本評論社、2002 年、
税込み 3,780 円。

参考書

① 諸富徹ほか『環境経済学講義』有斐閣、2008 年。
② 環境経済・政策学会『環境経済・政策学の基礎知識』有斐閣、2006 年。
③ 栗山浩一ほか『環境経済学をつかむ 第 2 版』有斐閣、2012 年。
④ 馬奈木俊介編『資源と環境の経済学 ケーススタディで学ぶ』昭和堂、2012 年。

＜成績評価法＞

原則として、提出物（70%程度）、期末試験（30%程度）で評価します。